

令和3年度 新宿ものづくりマイスター

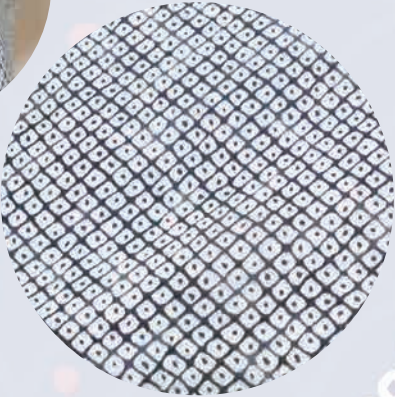
新宿区 技の名匠 紹介

新宿区では、区内の事業所でものづくり産業の同一業種に10年以上携わり、優れた技術・技能を有し、かつ後進の指導を行い他の模範となる方を「技の名匠」として認定しています

技の名匠 認定者一覧

令和3年12月現在			
平成20年度	1	富田 篤	東京染小紋 (株)富田染芸工 西早稲田3-6-14 ☎3987-0701
	2	西澤 幸雄	東京手描友禅 引 退
	3	青木 勉	製本 司製本(株) 東五軒町5-19 ☎3260-2483
	4	兼平 欣治	シール印刷 引 退
	5	石田 毅司	つまみかんざし製造 イシダ商店 高田馬場4-23-28-401 ☎3361-3083
平成21年度	6	松田 義明	紳士服製造 (株)テーラーマツダ 新宿6-16-22 ☎3352-0008
	7	飯島 武文	東京手描友禅 樺延工房 戸山2-33-1334 ☎3203-8755
	8	石崎 直治	日本刺繍 引 退
	9	高岡 昌生	活版印刷 (有)嘉瑞工房 西五軒町11-1 ☎3268-1961
	10	故市瀬 廣夫	帽子製造
平成22年度	11	坂本 国雄	金属原型彫刻 (株)SAKAMOTO 東横町12 ☎3235-0226
	12	伊藤 史安	管楽器修理(フルート) 村松楽器販売(株) 西新宿8-11-1 ☎3367-6000
	13	高橋 一朗	管楽器修理(管楽器全般) 高橋管楽器 大久保2-16-33 高橋ビル1階 ☎3209-7750
	14	熊崎 和人	東京手描友禅 熊崎工房 ☎0267-66-1972 長野県佐久市下平尾598-16
	15	松田 光二	染色補正 (有)松田 上落合2-21-25 ☎3368-1594
平成23年度	16	松本 義明	桐箏笛製造 (株)箏笛の松本 四谷2-10-6 ☎3355-1151
	17	石森 信二	管楽器製造 (株)石森管楽器 百人町1-20-23 ☎3360-4970
	18	山本 隆志	弦楽器製造 引 退
	19	福室 隆一	無地染 福室染工場 中落合4-21-17 ☎3953-6048
	20	真淵 貴昭	東京手描友禅 工房 貴美 中井2-21-26 ☎3953-7675
令和元年度	21	大橋 信彦	足袋製造 (有)むさしや 四谷本塩町1-7 コート金井101 ☎3351-7359
	22	竹内 正治	和竿製造 引 退
	23	故藤塚 勝栄	義肢・装具製造 (有)藤塚製作所 上落合2-21-15 ☎3362-0414
	24	故工藤 博	手描友禅
	25	砂川 裕孝	東京染小紋 (株)松綱染工所 練馬区高松6-29-7 ☎3925-6070
令和2年度	26	鮎澤 剛	革製品製造 鮎澤革包堂 ☎3267-0409 筑土八幡町5-12 SKビル
	27	捧 恭子	婦人靴製造 Belpasso(ベルパッソ) ☎5228-6528 神楽坂3-6 佐藤荘1階
	28	萩森 弥郁夫	管楽器修理 (株)ルボア ☎5989-1157 (オーボエ・バスーン) 西新宿7-19-9 西新宿ビル
	29	大澤 学	東京手描友禅 東京手描友禅工房 協美 ☎3954-3331 下落合4-6-17
	30	北川 幹雄	紋章上絵・染色補正 (有)幾久清 ☎3202-0964 早稲田鶴巻町521
令和3年度	31	多湖 朋	管楽器修理(管楽器全般) (株)ダク ☎3361-2211 百人町2-8-9
	32	並木 良夫	表具 引 退
	33	渡邊 博之	製本 (株)博勝堂 西五軒町9-1 ☎3269-5248
	34	藤井 正	和食調理 退 職
	35	井上 豪	和生菓子製造 (資)梅花亭 神楽坂6-15 ☎5228-0727
令和4年度	36	吉澤 敏	湯のし (有)吉澤湯のし加工所 ☎3368-2521 上落合1-9-8
	37	田島 靖教	内装木質・アルミ建材等補修 (株)バーンリペア ☎5227-1390 北山伏町1-11 牛込食糧ビル3階
	38	水野 功一	畳製造 水野畳店 四谷本塩町1-5 ☎3341-1760
	39	宇佐美 隆三	浸染 宇佐美捨染工所 北新宿4-25-13 ☎5330-6816
	40	岡本 尚也	印章彫刻 岡本印房 住吉町1-10 J&E高田ビル1階 ☎3353-2265
令和5年度	41	佐々木 精一	活版印刷 (有)佐々木活字店 榎町75 ☎3260-2471
	42	中村 博幸	引染 ふじや染工房 高田馬場3-28-13 ☎3368-8559
	43	佐藤 順子	洋裁 Jフローラ ☎3357-7283 富久町34-6
	44	高橋 俊隆	琴・三味線修理 (有)高橋琴・三味線店 ☎3209-6531 高田馬場1-31-8-109
	45	遠藤 興喜	手描友禅(金彩) 藤工芸社 上落合1-7-12 ☎3362-8874
令和6年度	46	平林 隼人	手描染 染芸工房 隼人 弁天町4 ☎3202-0653
	47	相田 茂	和生菓子製造 (有)五十鈴 神楽坂5-34 ☎3269-0081
	48	常川 直喜	畳製造 高岡屋常川畳店 四谷4-18-2 ☎3351-8611
	49	金田 朝政	東京染小紋 (有)金田染工場 下落合1-14-4 ☎3951-5703
	50	中村 隆敏	引染 ふじや染工房 高田馬場3-28-13 ☎3368-8559
令和7年度	51	井上 正	製本 和光堂(株) 山吹町341 ☎3260-7271
	52	小倉 隆	東京手描友禅 (有)小倉染芸 高田馬場3-25-8 ☎3361-2366
	53	小林 茂生	染色補正 染色補正 彩徳 ☎5386-4371 高田馬場4-19-2
	54	井上 英子	更紗 (一社)染の里おちあい ☎3368-8133 上落合2-3-6

問い合わせ先：新宿区文化観光産業部産業振興課 電話 03-3344-0701



このロゴマークは『技の名匠』を表し、新宿の「新」と新しい未来に向かう「新」をイメージしています

新宿区

技の名匠及びロゴマークは新宿区の登録商標です



小林茂生

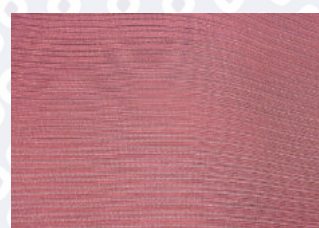
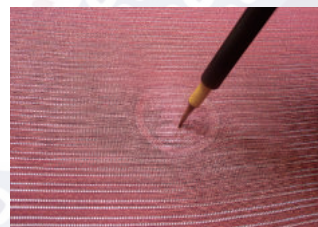
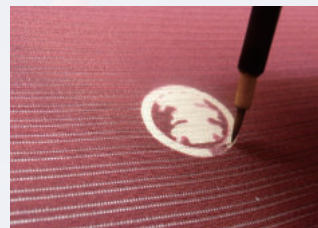
こばやし しげお

業 種 染色補正
事業所 新宿区高田馬場4-19-2
染色補正 彩徳
電 話 03-5386-4371



◆ 紋(様)消し ◆

「いま付いている家紋を別の紋に替えたい」「家紋を消して気軽に着られる着物にしたい」など、紋様に対する依頼も染色補正士の腕の見せ所。



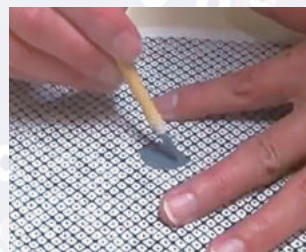
昭和52年生まれ。「彩徳」初代の染色補正士である父に師事。「染色補正」は着物や衣類に付いたしみや汚れを落とし衣服を元通りに復元する技術。単に襟や袖口の汚れやしみを除くだけでなく、しみを抜いたあと、どこにしみがあったかもわからないほどに元の柄や色を忠実に再現する高い技術を持つ。筆、刷毛、針、はさみ、ブラシ等の道具も用途に向けて使いやすく調整し、正確な作業を目指している。

高度な技術は多くの受賞歴からもうかがえる。平成31年3月「第30回全国技能グランプリ大会」では「汚れ落とし」「ぼかし合わせ」「小紋直し」「紋様消し」すべての作業で高評価を得て優勝した。また、染色補正技能士1級及び2級の資格取得をめざす後進への指導や和服講習会での講演指導など、専門家のみならず一般消費者にも衣服を守る身近な心得を伝授している。

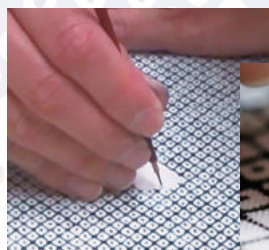
東京都染色補正しみぬき組合や新宿区染色協議会では若手会員への指導も行い、地域の染色イベントにも積極的に参加している。染色補正は染色全般における裏方的な役割を担ってきたが時代の変化とともにSNS等も利用しつつ幅広く発信したいと考えている。

◆ 地直し ◆

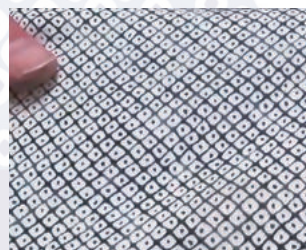
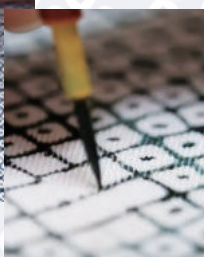
染料を使い柄の補正や地色の修正をすることをいう。染色補正ではしみや汚れを除き、本来の柄や地色もいためないことが求められる。



何のしみかを見極め、適した薬品を調合し処理する



抜けたところは筆と染料で模様を書き足す



完成



井上英子

いのうえ はなこ

業 種 更紗
事業所 新宿区上落合2-3-6
一般社団法人 染の里おちあい
電 話 03-3368-8133



◆ 作品 ◆



型彫りから手掛けた帯。背景のブルーは引染で染めている



2点とも同じ型紙を20枚ほど使い、色みを替えた帯。右は糸目をあえて白く残し、同系色で染めた

昭和53年生まれ。大学でテキスタイルや染色の基礎を学び捺染屋(風呂敷を染める専門業)での就業を経て平成20年「染の里おちあい」に入社。更紗の制作にあたるが摺りだけでなく糊置き、色の調合、色挿し、引染、蒸し、水元など、染色に関わる全作業を行うことができる。

更紗は型を重ねて染めていく技法。大体20枚ぐらいの型紙を重ねて柄を完成させる。基本、花鳥風月が描かれるが、日本の草花ではないため季節にとらわれず着ることができるのも魅力。自らデザインし、型も彫る。型紙は渋紙(柿の渋を塗った和紙を重ねて燻し硬化させ耐久性をもたせたもの)、洋型紙(近代的な染色用型紙)のほかシルクスクリーンも併用し、作品のバリエーションを広げてきた。背景に引染を使うことで、型染とは異なるニュアンスを出すような工夫も行っている。

職場では後進の指導にあたり、定期開催の染色体験教室の講師として一般の方々へも指導を行っている。地域の染色イベントにも積極的に参加して、更紗の伝承・普及に努めている。

更紗を摺る



自分のイメージ通りの色になるまで色づくりは妥協しない



実際、布にとって色味を確認。乾いても変わる



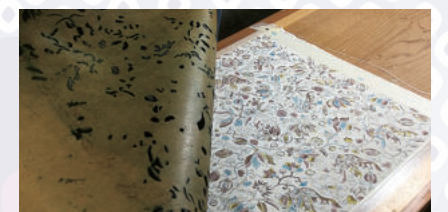
色ごとに丸刷毛を替える



長い捺染板に白生地を張り、空気が入らぬよう型紙を当てて染料を摺りこんでいく



染料の含ませ方や生地への当て具合などを確認する



新たにターコイズ・ブルーが加わり柄が完成してきた